

各 位

東京都港区赤坂9-7-1  
株式会社マネースクウェア・ジャパン  
代表取締役社長 相葉 斉  
(東証第一部 コード番号: 8728)  
問合せ先 業務管理部 IR/広報チーム  
シニアマネージャー 西田 大助  
電話 03-3470-5050(代表)  
<http://www.m2j.co.jp>

## 平成26年2月度 月次概況(速報)に関するお知らせ

平成26年2月度の当社の月次概況を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び預り資産残高は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

	平成25年3月期											
	平成24年									平成25年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位:百万円)	238	235	272	196	174	208	235	287	280	493	606	489
顧客口座数 (単位:口座)	43,302	43,975	44,746	45,489	46,226	47,459	48,645	49,812	50,900	52,555	54,274	55,754
預り資産残高 (単位:百万円)	32,502	34,282	35,154	36,010	36,428	37,170	37,811	38,099	38,706	38,989	40,168	41,401

  

	平成26年3月期											
	平成25年									平成26年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位:百万円)	770	648	510	392	312	326	270	328	401	474	366	
顧客口座数 (単位:口座)	56,901	58,013	58,821	59,702	60,528	61,332	62,169	62,898	63,728	65,013	66,498	
預り資産残高 (単位:百万円)	43,422	45,300	46,207	47,293	47,621	48,422	48,858	49,199	50,312	51,134	51,812	

- (注) 1. 営業収益は各月毎の実績数値であります。  
2. 顧客口座数及び預り資産残高は各月末時点の口座数及び残高であります。

### 【2月度の概況】

1月下旬の新興国市場の混乱により円高米ドル安傾向にあった米ドルは、先行き懸念の強まりから一時100円台後半まで円高が進行しましたが、その後、新興国市場に対する過度な不安が和らぎ、米景気指標の減速は寒波の影響による一時的なものとの理解で米ドルは持ち直しに転じ、中旬以降は102円台を中心に底堅く推移するものの、下旬以降は新興国市場の先行き不透明感が払拭されないなか102円前後で上値の重い展開に終始し越月いたしました。

当社においては、昨年来から個人投資家のリスクオン姿勢にすそ野の広がりが見受けられ、顧客口座数の増加もピッチが上がり、前月度から1,485口座増加の66,498口座(前年同月比22.5%増、前月比2.3%増)となりました。預り資産残高は51,812百万円(前年同月比29.0%増、前月比1.3%増)と、引き続き創業来の残高を更新すると同時に残高更新継続を50ヶ月連続まで伸ばしました。営業収益に関しては、相場環境がアベノミクスが始まって以降で最低水準のボラティリティの月となり、総推移は、当社が取扱う全ての通貨ペアで15%~25%程度前月比で下回る結果となりましたが、預り資産残高や顧客口座数などのポテンシャルは継続的にベースアップし、顧客からの注文指定量・ポジション量ともに創業来の高水準で推移しているため、低ボラティリティな相場下であっても収益のダウンサイドリスクを限定させ、平成24年7~9月のような落ち込みは回避できる構造になってきたこともあり、366百万円(前年同月比39.5%減、前月比22.7%減)となりました。

以 上